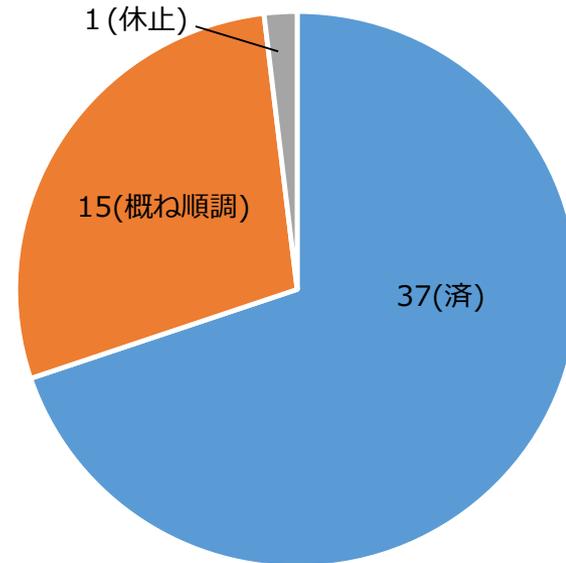


平塚市行財政改革計画（2020-2023）  
令和3年度取組結果【総括】

## 1 進捗状況（詳細は資料3-2、3-4）

- 29事業で53の活動を実施。
- 活動の状況は、「済」「概ね順調」は52の活動、全体の98%は順調に進捗。
- 「休止」は1の活動。
- 事業の方向性は、「継続」は23事業、「終了」は6事業。

【活動数内訳（合計53の活動）】



■ 済 ■ 概ね順調 ■ 休止

## 2 財政的な効果等（詳細は資料3-3）

- 令和3年度の効果額は、約17億5,532万円。
- 歳出削減 見附台周辺地区整備（平塚文化芸術ホール等）事業などにより、約10億165万円の効果。
- 歳入確保 債権徴収の推進事業などにより、約7億5,366万円の効果。

【財政健全化効果額】

（単位：千円）

取組の視点	歳出削減	歳入確保	合計
(1)民間活力の活用	869,488	0	869,488
(2)施設の総合的管理	0	177,153	177,153
(3)行政の効率化	4,406	0	4,406
(4)収入確保策の推進	9,627	576,508	586,135
(5)身近で利用しやすい行政サービスの推進	0	0	0
(6)ICTの活用推進	118,138	0	118,138
合計	1,001,659	753,661	1,755,320

### 3 主な事業の取組と成果（詳細は資料3 - 4）

#### （1）民間活力の活用

##### 民間活力活用事業【重点】

- 保育園給食調理業務（神田保育園）を委託。
- 令和4年度からの委託に向けて、学校給食単独調理場業務（山下小学校）の委託事業者を選定。

##### 公立幼稚園・保育園再編等事業【重点】

- 土沢地区の認定こども園の整備計画に関する基本方針の策定に向け、定員規模や運営の条件等を検討。

#### （2）施設の総合的管理

##### 公共施設総合的管理事業【重点】

- 個別施設計画を策定し、総合管理計画及び再編計画を改訂。
- 個別施設計画に示した対策の推進に向け、関係課で協議。

#### （3）行政の効率化

##### 職員提案・業務改善推進事業

- 業務改善報告は、前年比約1.3倍の335件の応募。
- 「業務改善報告」の提出時の入力項目を削減することで、報告数が増加。

## (4) 収入確保策の推進

### 債権徴収の推進事業【重点】

- 目標収納率を掲げている全ての債権が目標達成。
- 市税や国民健康保険税等でスマートフォン決済アプリ「FamiPay」を利用したキャッシュレス決済による納付を追加。
- 国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料で預貯金照会業務のデジタル化サービス「pipitLINQ」を導入し、滞納者の財産調査における事務を効率化。

## (5) 身近で利用しやすい行政サービスの推進

### 行政手続オンライン化推進事業【重点】

- 電子申請システムに117種類の手続を追加。

### マイナンバーカード普及促進事業【重点】

- 15回の出張申請支援を実施したほか、企業を対象に取得支援を2回実施し、合計で約1,500人の申請を受け付け。

## (6) ICTの活用推進

### ICT活用推進事業【重点】

- 税務部門及びこども家庭課でRPA（定型的なパソコン作業を自動化する技術）の検証を実施。
- AI-OCR（手書きの帳票等を読み取り、文字をデータ形式にする技術）を税務部門で試験利用。

## 4 「休止」とした活動（詳細は資料3-4）

### クラウドファンディングに関する活動 [寄附金活用事業]

- 令和3年度に実施予定のクラウドファンディング（七夕まつり・花火大会）は、感染症の影響により、事業が中止となり、実施を取り止めたため。

## 5 「終了」とした事業（詳細は資料3-4）

### 計画上の活動が完了した事業

- 図書館業務民間活力導入事業
- 見附台周辺地区整備（平塚文化芸術ホール等）事業
- 地理情報システム（GIS）統合事業

### 窓口サービス改革事業の位置付けに伴い終了とした事業

- 行政手続オンライン化推進事業
- 窓口サービス改善事業
- 行政サービスのキャッシュレス決済拡充事業